2022年度報告書

- 事業報告及び附属明細書
- •貸借対照表
- •損益計算書(正味財産増減計算書)
- •損益計算書(正味財産増減計算書)內訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減 計算書)の附属明細書
- · 予算対比損益計算書(正味財産増減計算書) (参考資料)
- •財産目録(参考資料)
- •監查報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

I はじめに

2021年度をもって公益目的支出計画(*1)が完了し、内閣府への報告義務や会計上の各種制約(収支相償原則(*2)等)がなくなり、時代や環境変化に応じた事業見直し・レベルアップが可能になる一方、「新型コロナ感染症」「少子高齢化」等による事業環境の変化や収益環境の悪化が生じているなど、当財団を取り巻く環境が変化している中で、「収支改善」・「事業見直し」による財団の社会的使命発揮、持続可能性向上へ踏み出した2022年度でした。

- (*1)2008 年 公益法人制度改革 関連法令の施行により、従来の社団法人・財団法人のうち「一般財団法人」へ移行した法人に対しては、残余財産相当額を公益の目的のために支出することが義務付けられており、公益目的財産額に達する事業年度までは公益目的支出により同財産額をゼロにすることが求められ、そのために策定した支出計画。
- (*2)公益法人が行う公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入が、その実施に要する 適正な費用を償う額を超えないと見込まれること。収支相償は、主として、公益法人が公益 事業によって得た利益を内部に留保することを防ぎ、公益目的事業に充てるべき財源を最大限 活用し、公益目的事業の受益者に対し、より安価で質の高いサービスを提供することを目的 とした制度。

具体的には、公益性の高い事業(福祉事業における各種取組等)と一般的な事業(予防医学振興事業における健診(人間ドック)や音楽文化振興事業における貸館公演等)を区別し、公益性の高い事業については「予算内での効率的な運営」を、一般的な事業については「利益拡大」を目指し後述のとおり取り組んできました。また、音楽文化振興事業における主催公演につきましても、芸術性を重視する公演と収益性を重視する公演を明確に分け、それぞれ趣旨に沿って企画を行いました。

その結果、2022年度の「当期一般正味財産増減額(最終損益)」は+16百万円と、2009年度以来継続していた赤字から脱却しました。

予防医学振興事業においては、コロナ感染第6波の収束とともにスタートし、第一四半期こそ順調な滑り出しでしたが、7月からのコロナ感染第7波、さらに11月からのコロナ感染第8波と、立て続けにコロナ感染の波に見舞われるとともに、12月からは3年ぶりにインフルエンザが大流行するなど、感染症との奮闘が続く日々でした。

その状況下でも、事業見直し計画に掲げた各種方策を着実に実行することで受診者数計画の達成に向けて取り組んだ結果、残念ながら計画値には及ばないものの相応の受診者数で今年度を終えました。さらに、トライアル方策(*3)の一部項目で実現にこぎつけるとともに、2023年度の受診者増ならびに収益拡大につながる案件も獲得するなど、新年度の準備も先んじて進めました。

[事業収益:1,017百万(予算比▲72百万)、事業費:1,107百万(予算比△15百万)]

(*3) 手数料収益獲得による健診収益の改善ならびにワンストップで健康に関する相談が完結できる といった当施設独自の付加価値提供に向けた取組方策。脳検査や産業医紹介など当施設単体で 対応できない検査等について他機関との紹介スキームを構築しました。

福祉事業においては、これまでの事業内容や進め方を抜本的に見直し、定款に規定する目的に今一度立ち返った上で事業を展開していくため、2023年度からの新規事業をスタートさせる準備期間と位置づけた2022年度は、既存事業を中心に実施しながら住友生命グループ内で同種事業が存在する事業を整理し、準備を進めました。 [事業費:22百万(予算比△12百万)]

音楽文化振興事業においても、新型コロナウイルス感染症の収束を期待してスタートしましたが、 大阪府においては7月~8月の感染者増加により、8月に高齢者の外出自粛要請が出されるなど、新型 コロナウイルス感染症の影響が続いていました。

平均来場者数は430名で、緊急事態宣言等で規制のあった2021年度と比較すると約140名増加しました。しかし、コロナ前の2019年度と比較すると平均来場者数は9割程度で、新型コロナウイルス感染症の影響で来場を控えられたお客さまが完全に戻っていない状況が続いています。

このような中、公演数を増やして多くの演奏に接する機会を提供するとともに、新規顧客開拓、集客力向上に向けて各種取り組みを進めました。

[事業収益:162百万(予算比▲28百万)、受取助成金:32百万(予算比+12百万)、

事 業 費:436百万(予算比△15百万)〕

Ⅱ 予防医学振興事業

住友生命総合健診システムで実施する総合健診(人間ドック)を柱に、年間2万人を超える受診者にレベルの高い健診の場を提供するとともに、健診で得た知見は広く社会全般へ還元し啓蒙を図ってきました。

- 1. 健診クオリティ・受診者体験価値(CX)の向上への取組み
 - ・4月から、受診者の健診着を、プルオーバー式の全受診者様共通のデザインに変更いたしました。 レンタルクリーニングとして採用したため、3年後には新規デザインに新調可能です。
 - ・特定保健指導積極的支援対象者の中間面談に対して、Zoomを利用したリモート面談の体制を整え、9月から開始しました。9月5日~3月31日の間で、積極的支援該当者50名のうち、中間面談をリモート面談での希望者16名(32.0%)、従来の来所希望者が17名(34.0%)でした。(初回指導未受診者は17名(34.0%))
 - すでに、7名はリモート面談を実施し、ご案内から実際のリモート面談までスムーズに行うことができました。
 - ・1月には、受診者用の男女トイレの改装が完了しました。当健診では、検査精度の観点などからも 施設にご来所後に採尿をしていただくため、トイレは全員の受診者が使用します。快適性、利便性 の向上に多大な貢献を果たせました。
 - ・この1年を通して、ホームページのリニューアルに取り組みました。職員一丸となり、当社の 特色や、健診に関する様々な疑問点などを受診者が容易に解決できるような内容にすべく、推敲 を重ねました。2023年4月3日に、大幅に刷新した新たな内容で公開しました。

2. 受診者数の向上への取組み

- ・2022年2月に実施したカムバック運営(*1)による効果や1日あたりの受診者上限110名の 範囲内での柔軟な予約受付運営(*2)、新規団体からの健診契約受託などにより、2022年度 第1四半期の受診者数は堅調な滑り出しでした。
 - (*1) 2020年度に受診あるも2021年度に受診のなかった受診者へ勧奨書面を郵送することによる受診促進運営
 - (*2) 原則として総合健診100名、その他健診10名が基準ですが、予約希望数に応じて、内訳を柔軟に運用する予約受付運営
- ・その後、7月以降の新型コロナウイルス第7波による感染拡大局面となり、受診者本人や家族のコロナ罹患や濃厚接触該当が多発。予約日の変更やキャンセルが相次ぎ、第2四半期は一転して前年比マイナスが続く、厳しい環境でした。
- ・11月からの新型コロナウイルス第8波による感染拡大局面に加え、コロナ禍では初となる12月下旬からのインフルエンザ流行も相まって、第3四半期から第4四半期にかけても受診者数が思うように伸びない状況が続きました。
- ・その中でも、年間を通して各種方策に取り組み、受診者数の底上げと受診者1名あたり健診料単価 の引き上げの両面から年間計画の達成に努めました。

【2022年度の主な取組方策】

- ①枠資源の効率運用、有効活用(柔軟な予約受付運営、Web予約枠の充足強化、外部業者 Web予約システムの活用)
- ②カムバック運営(2023年2月9日発送済、対象者2,861名)
- ③閑散期の受診者底上げ(2023年1月~住友生命被扶養者向けキャンペーンを実施、 閑散期に比重の高い新規団体との契約獲得)
- ④オプション検査推奨団体への積極的なアプローチ(オプション検査項目に対して健康保険 組合による補助のある28団体所属の受診者へオプション検査追加のご提案を実施)
- ⑤近隣医療機関との新規提携による脳検査紹介の手数料化実現(2023年1月~試験的に スモールスタート)
- ⑥産業医紹介事業者との新規提携による手数料収入源の確保(2023年1月〜紹介開始)

- ・また、住友生命が2023年2月からの定期健診において城見本社会議室での集団検診を収束 させるにあたり、城見本社所属職員の受入(受け皿)施設として単独受託しました。
- ・結果として、2022年度(4~3月)の実績は以下のとおりです。

総受診者数 22,224名 (2021年度比 +589名)

総合健診受診者数 20,019名 (" ▲ 37名)

事業収益(税別) 1,017百万(" + 4百万)

年間計画に対する遂行率は、総受診者数で97.4%、総合健診受診者数で94.8%でした。

3. 学会発表等

・運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、以下の とおりの実績となりました。

第32回 日本乳癌検診学会学術総会(発表) 11月11日~12日 アクトシティ浜松

【演 題】超音波・マンモグラフィ併用健診で発見された―超音波検査者の立場から―乳癌 症例における指摘モダリティ(医療機器の種類)別の検討

【発表者】西谷 萌凪

【共同演者】岡田 優子 増田 佳純 寺田 博美 神田 恵美子 安井 香里 谷口 恵 小田 真菜 有澤 瑞希 上田 裕美子 川崎 幸代 坂根 深幸 田中 和美長尾 顕一 堀本 葉子

・学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にもオンライン、現地開催も含め積極的に参加し、 最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

Ⅲ 福祉事業

2022年度は既存事業を中心に事業を実施しながら、2023年度以降に実施する新規事業の検討を重ね、事業のテーマなどを選定しました。詳細は以下のとおりです。

1. 地域医療貢献奨励賞

- ・第16回となる2022年度も例年同様、自治医科大学や各都道府県と連携して地域医療の確保 と向上、住民の健康福祉の増進に貢献している医師6名を11月18日の選考委員会にて選出 しました。うち1名は、これまで受賞者が選出されていなかった佐賀県からの初めての選出でした。 その結果、これまでの受賞者は45都道府県のべ98名となりました。
- ・3月4日の表彰式(於:東京)は、万一のコロナ感染が地域医療へ影響を与えないよう配慮し、対面とオンラインのハイブリッド開催にて実施いたしました。そのため、受賞者4名が会場で、残る受賞者2名はオンラインでのご参加でした。受賞者の詳細はP5~6に記載のとおりです。
- ・本賞が広く周知されて認知度が高まるとともに推薦者が増加し、本賞がより一層、役割を果たせるよう、地域医療に関する業界誌へ働きかけました。その結果、受賞者ならびに表彰式の様子が掲載されました。

2. ケアする人のケアセミナー

- ・介護に関わる問題を介護する側からの視点で考えるセミナーを、一般財団法人たんぽぽの家との 共催により開催しています。2022年度は、3月19日に「ケアリング・ソサエティ~人が 人として生きられる社会を求めて~」をテーマに岐阜で開催しました。
- ・講演、実践事例報告、分科会の3部構成で開催し、終了後の参加者アンケートでは71%の回答者から「有意義だった」との回答、残る29%が「概ね有意義だった」との回答でした。参加者にとって満足度の高いセミナーとなりました。

3. 社会貢献健診施設としての役割拡大(福祉事業を通じた他健診施設との差異化)

a. 聴力障がい者健診

- ・毎年、手話通訳者のほか施設スタッフも手話による案内を行い、実施しております。コロナ禍の中、受診者様の安心・安全を最優先に例年より規模を縮小して1月5日に実施し、51名の方にご受診いただきました。
- ・また、より多くの受診機会を提供すべく、抽選に外れた方5名にも2月下旬に受診いただきました。
- ・初めての受診者から「とても素晴らしい経験ができるとともに安心して受診できた。利用 していない方々にも、この喜びを味わってほしい」との感想をいただくなど、意義深いものと なっています。

b. 介護する人およびひとり親家庭世帯者向け受診優遇(*)の取組

- ・親や配偶者の介護に携わる人やひとり親家庭の世帯者は、自身の健康管理が疎かになりがちであることから、受診優遇(*)の取組を実施しており、31名の方にご受診いただきました。
 - (*)総合健診(人間ドック)の受診にあたり、健診料金(基本検査)を通常よりも低廉な料金に設定する仕組みです。

4. 新規事業の検討

- ・定款に規定する目的に記載の「高齢者」「障がい者」「女性」「子ども」の中から、「福祉事業を 取り巻く社会の現状ならびに行政の取組状況」等を再整理・再確認したうえで、2023年度以降 効果的かつ効率的に実施することが可能な新たな福祉事業の支援対象を「子ども」「障がい者」に 選定しました。
- ・その後、自治体から紹介されたNPO法人等5団体や有識者へのヒアリングを重ねるとともに、 関係団体との協議、検討を経て、ヤングケアラーはじめ手を差し伸べるべき子どもの支援団体同士 のつながりや連携を生むためのフォーラム開催など、具体的な新規事業の大枠を策定しました。

【ご参考】

2022年度の地域医療貢献奨励賞の受賞者は以下のとおりです。

<敬称略>

伊藤 達朗 (いとう たつろう)

岩手県 葛巻町国民健康保険葛巻病院・院長

昭和56年自治医科大学卒。岩手県内で医師不足の深刻な沿岸・県北地域の複数の病院に勤務した後、東日本大震災発生から2年が経過した平成24年県立大船渡病院長に着任。地域の医療機関との地域連絡会議を創設し、地域の医療連携を進めるとともに東日本大震災以降中断されていた市民講座、運営協議会などを再開し、被災地の医療機関等の連携を進めた。

また平成26年には県立病院で初めてとなる地域包括ケア病棟を開設するとともに、病院大規模 改修に併せて病床見直しや病棟再編を行い、被災地の地域住民が安心して受診できる地域の医療体制 を構築。

平成30年には県立中部病院長に着任し、がん診療、救急医療、周産期医療など医療提供体制を整備しながら、地域の医療機関との懇談会開催、患者情報共有システムの運営など地域連携を強化し、また、入退院支援、患者相談などを一元的に行う患者家族支援センターを設置し、地域住民に開かれ信頼される病院づくりに取り組んだ。

現在は令和4年に着任した国民健康保険葛巻病院の院長として、着任から数ヶ月という短い期間で、 職員との積極的な対話を通じ、新たな病院理念と6つの基本方針を策定するとともに、職員の意識 改革を行っており、長きにわたり地域住民に信頼される病院づくりを進めてきた功績は顕著である。

荒川 光昭 (あらかわ みつあき)

山形県 大蔵村診療所·所長

昭和61年秋田大学医学部卒。平成3年の大蔵村診療所開設時に、同診療所の医科医長として着任、 平成8年には同診療所の所長に就任し、現在まで30年以上の長きにわたり全国でも屈指の特別 豪雪地域である同村において、保健、医療、福祉の連携強化に努めるとともに地域包括ケアシステム の構築に寄与。

診療体制としては、日常の外来診療に加え、寝たきりや終末期の患者やその家族が安心できる在宅 医療を提供するために、緊急時の連絡体制を整備し、昼夜を問わず精力的に往診をするだけではなく、 看取りや家族支援を積極的に実施。

また、予防医療については、検診事業に対して積極的な指導を行い、検診後の再検査などのフォロー 態勢を整備するとともに、健康教室などを通じて早期発見・早期治療の大切さを直接熱心に啓発し、 地域住民の健康管理にあたっている。

今般の新型コロナウイルス感染症に対しては、関係行政と連携し速やかに診療所内に発熱外来を 設置するとともに、外出が困難な高齢者等には在宅でのワクチン接種を行うなど、感染拡大防止や 住民の安心のために奔走しており、地域医療の確保や充実に長きにわたり貢献した功績は極めて 大きい。

相良 洋三 (さがら ようぞう)

奈良県 奈良市立興東診療所 (兼) 田原診療所・管理者 (兼) 診療所長

昭和53年自治医科大学卒。義務年限終了後の平成2年に吉野町国民健康保険吉野病院医長として 着任、平成18年には同病院の副院長に就任し、地域の住民に対する診療のみにとどまらず、地域 全体の医療・福祉の向上、後進の指導など多岐にわたり尽力。

平成24年にへき地医療拠点病院であり、へき地医療を支援するために設立された公益社団法人 地域医療振興協会の運営する市立奈良病院総合診療科に所属。

その後平成25年より奈良市東部の山間地域に位置し、同協会が運営する奈良市立月ケ瀬診療所、 奈良市立田原診療所での勤務を経て、現在も奈良市立田原診療所に加え、病気になった際に地区外 の医療機関の受診を余儀なくされる「1次医療の空白地区」が所在していた奈良市立興東診療所の 管理者兼診療所長として地域医療に寄与している。

義務年限終了後から現在に至るまで30年以上もの期間、へき地を中心とした地域の公立医療機関に従事し続け、県における地域医療確保の観点からも非常に大きな役割を担っており、県内のへき地医療に多大な貢献をしている。

荻野 健次(おぎの けんじ)

岡山県 備前市国民健康保険市立吉永病院·備前市病院事業管理者

昭和52年岡山大学医学部卒。昭和55年に吉永町国民健康保険町立病院(現在の備前市国民健康 保険市立吉永病院)の院長として着任。

赤字で苦しんでいた経営を立て直すために徹底した合理化を実施するとともに、常に患者側に立った診療姿勢により、多くの地域住民の支持を得て、昭和59年度には累積赤字を黒字に転換。 以降も地域に親しまれ、信頼され、必要とされる病院を目指し、「できるだけ救急車を断らない」 「できるだけ時間外の診療を断らない」「夜9時まで受付窓口を開ける」「遠くの病院に行かないで済むよう、専門外来を増やし、ミニ総合病院化を目指す」等の方針を打ち出し、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに取り組み、現在まで安定的な経営を維持している。

平成18年に現在地へ新築移転し、念願であった地域包括ケアシステムの推進に不可欠な地域 包括支援センターや総合保健施設を併設し、行政との連携強化を図るとともに、保健予防活動にも 積極的に貢献。

在宅医療や介護にも早くから目を向け、へき地の集落まで片道 $30\sim40$ 分かけての訪問診療、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション等を手がけ、介護施設・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所との連携も強化しており、長きにわたるへき地医療・地域医療への貢献は誠に顕著である。

山田 修(やまだ おさむ)

佐賀県 山田整形外科クリニック・理事長

昭和59年自治医科大学卒。地域住民の整形外科分野の専門的な医療提供のニーズに応えるため、また町からの強い要請もあり、平成9年にクリニックを開業。クリニックでは、整形外科分野だけではなく、プライマリケアを提供しており、高齢化が進む過疎地域において長きにわたり「大きな安心感を与えるかかりつけ医」の役割を担い、住民からの信頼を得て、医療の拠り所となっている。

平成31年には定期受診患者の移動能力の低下に危機感を抱き、医療・介護の両面から患者を支えるため、クリニックの施設内にデイケアセンターを開設するとともに、公共交通機関の減便・廃線に伴い、車を運転できない高齢者のために無料の送迎バスを複数ルート運行させるなど、医療を必要とする患者の生活を支えるための環境づくりに尽力。

地域住民に対し、継続的で切れ目のない診療を継続するため、平成21年から長年にわたり唐津 整形外科医会の幹事として、二次救急機能を有する医療機関及び一次医療機関全ての整形外科の 医師が参加する症例検討会を毎月開催し、医師同士の顔が見える関係性づくりを進め、病診連携及 び診診連携機能の構築にも大きく貢献。

医師会においては救急医療対策委員会委員長として平日夜間及び土日祝日の小児医療体制の構築 に向けて尽力するなど地域医療に対する貢献はきわめて大きい。

八坂 貴宏(やさか たかひろ)

長崎県 長崎県病院企業団長崎県対馬病院・院長(兼)

長崎県病院企業団長崎県上五島病院・顧問

昭和63年長崎大学医学部卒。平成9年上五島病院の外科医長として着任、その後同病院の診療情報部長・副院長を歴任し、平成19年同病院の院長に就任。

救急医療から慢性疾患の治療、リハビリ、在宅診療、検診事業への取り組みなど地域の保健医療介護福祉の統合・連携に尽力。また、町と協力して夜間健康教育(新上五島町健康道場)を50か所以上の集落で開催、在宅医療・介護連携支援センターを立ち上げ、訪問診療や在宅看取りに取り組み、地域包括ケアシステム構築にも尽力した。

平成31年から対馬病院の院長に就任、血栓を溶かす薬を投与しながら本土病院にヘリ搬送をするDrip and Ship療法、心筋梗塞に関しては救急車から心電図を伝送してのカテーテル治療など時代に即した治療方法を率先し、救急医療の向上に努めている。

また、病院と地域を繋ぐ地域医療連携室の運営強化、市と共同で在宅医療介護連携担当スタッフを配置、高齢者が自宅や施設で安心して暮らせるように訪問看護ステーションを設置するなど地域完結医療・地域包括ケアシステム構築に貢献。

長年にわたり長崎県内の離島医療に携わり、持続可能な病院事業及び地域医療・地域包括ケア体制の構築に向けた功績は極めて大きい。

Ⅳ 音楽文化振興事業

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、お客さまの安全を確保したうえで、公演数を増やし、 多くの演奏に接する機会を提供するとともに、各種取り組みを行いました。予定していた公演は海外 アーティストの公演も含め、2月の1公演を除き、全て実施することができました。

1. 主催公演

- ・29公演を開催し、来場者数は15,357名(平均来場者数は530名)となりました。 今年度から芸術性を重視する公演(14公演)と収益性を重視する公演(15公演)を分別し、 芸術性を重視する公演はより多くのお客さまにご来場いただくことで芸術の普及を目的とし、 収益性を重視する公演はより多くのお客さまにチケットをご購入いただくことで収益の獲得を 目的と定め公演運営にあたっています。
- 主な公演は次のとおりです。
 - ①2022年度の年間メイン企画

9月8日から9月12日の期間で「シューベルト交響曲全曲演奏会」を実施しました。この 企画では、指揮者に世界各地で活躍する山田和樹氏を迎え、大阪を拠点とする4つのオーケス トラ(関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪フィル ハーモニー交響楽団)と共演しました。

また、期間中には音楽アドバイザー堀朋平氏によるレクチャーコンサート(シンフォニーは 一夜にしてならず)や、リハーサル見学会も開催しました。

②人材養成事業公演

11月にオルガニストを目指す青少年を対象としたミシェル・ブヴァール氏によるオルガン・マスタークラス(*1)を開催しました。

(*1) 若手オルガニスト育成のための公開レッスン

③普及啓発事業公演

8月に親子を招待する「いずみ子どもカレッジ 2022 こどもオペラ」を実施するとともに、1月に「音楽講座 XIII 作曲家・西村朗が案内するクラシック音楽の愉しみ方」を開催しました。また10月および2月には、障がいのある方とそれをサポートする方を招待する「第19・20回 夢コンサート」を開催しました。福祉事業の取引団体へも当日の来場者を募るなど協同での事業としてPRに努めたため多数の鑑賞希望をいただき、例年は年1回の公演回数を年2回に増やして実施しました。

④その他恒例の主催公演

7月にいずみシンフォニエッタ大阪「第48回定期演奏会」の他、6月、9月、12月には定番の「ランチタイムコンサート」、8月、11月に「午後の特等席」をそれぞれ開催しました。

- ・住友生命および関連会社の職員から公演内容やホール運営面でご意見をいただき、より良いホール 運営に活かしていくために、モニター制度を開始しました。モニターには公演を鑑賞いただき、 ご来場の都度アンケートに答えていただくとともに、2月27日にはモニター意見交換会を実施 してご意見をいただきました。今後のホール運営に活かしてまいります。
- ・住友生命社内での住友生命いずみホールの認知度を高め、より多くの職員に足を運んでいただく ために、住友生命の社内イントラネットを利用して公演をPRし、チケットの斡旋販売を開始 しました。

2. 貸館公演・共催公演

- ・年間145公演を計画していましたが、144公演を開催し、来場者数59,159名(平均来場者数は411名)となりました。
- ・緊急事態宣言等の規制があった2021年度と比べ、公演数は23公演、来場者は24,031名 増加しました。休日の公演数はコロナ禍前の状況に回復し、平日の公演数を増やすべく既存および 新規の貸館先へ音楽公演だけでなく今後の継続利用にもつながるコンクール、発表会、式典利用 でのアプローチを進めています。

【各公演数・入場者数】

	2022年度		オープン以来(注2)	
	()は2	021年度(注1)		
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	28 (20)	15, 300 (6, 973)		
主催公演 (人材養成事業)	1 (5)	5 7 (5 8)	1, 241	701, 206
共催公演	22 (12)	6, 645 (3, 289)		
貸館 (注3)	1 2 2 (1 0 9)	52, 514 (31, 839)	6, 033	3, 257, 261
合計	173 (146)	74, 516 (42, 159)	7, 274	3, 958, 467

- (注1) 中止公演は公演数に含めていません。
- (注2) オープン以来累計には休館中等の社外会場実施分、無観客配信公演は含めていません。
- (注3) 貸館には受託公演を含みます。

3. オフィシャルスポンサー、オフィシャルサポーター等

- ・スポンサー12社、サポーター22社は全て継続されておりますが、新規協賛企業はございません。
- ・しかしながら、新規顧客開拓のために住友生命販売部門との協業に取り組みました。地方銀行様、 信用金庫様へのアプローチを強化し、福利厚生の一環としてのチケット斡旋の提案等、提携強化 に取り組みました。
- ・また、各企業様から幅広くご支援いただくために、新たな協賛の方法として年間シートを創設 しました。年間を通して主催公演を同じ席でお聴さいただけるプランであり、2社から申込み いただきました。

4. フレンズ会員

- ・有料会員である「フレンズ会員」は、コロナによる外出控えや開催公演数減少による会員数減少からの回復(2022年度末目標3,000名)を課題としており、3月末時点で3,062名 (2021年度末比217名増加)となっております。
- ・フレンズ会員の魅力向上を目的に、会員限定のサービスとしてホームページから主催公演を後日 オンラインで視聴できる「デジタルいずみチャンネル」を8月にスタートいたしました。
- ・また、フレンズ会員の更なる増加を図るため、2023年1月から新たなフレンズ会員制度として「WEBフレンズ会員(*2)」を開始いたしました。
 - (*2) チケット優先販売や割引等の特典はそのままで、入会やチケット購入はインターネット、公演情報等のご案内はメールマガジンとする新たな会員制度(年会費は1,000円。従来のフレンズ会員は年会費2,000円)。

5. 助成金、補助金

- ・公的助成としては、文化庁(日本芸術文化振興会、映像産業振興機構)から計2,560万円、大阪府・市からは計550万円の助成が得られています。
- ・民間助成としては、野村財団、三菱UF J 信託芸術文化財団より、計90万円の助成が得られています。

6. 利便性向上

- 7月にホームページをリニューアルし、デザインや情報コンテンツをお客さまに見ていただき やすくし、公演情報ページからチケット購入の流れをスムーズにするなどの対応を実施しました。
- ・障がい者や高齢者がご利用いただきやすいように、地下駐車場からロビーへ階段を使用せず直接 エレベーターでお越しいただけるように、3月にバリアフリー工事を実施しました。

【ご参考】

2022年度の全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

〔シューベルト交響曲全曲演奏会〕

9/8 (木)	Vol.1 「開かれた扉」 出演/山田和樹(指揮)/関西フィルハーモニー管弦楽団 堀 朋平(お話) 曲目/シューベルト:交響曲 第1番 ニ長調 D82 	522
9/9 (金)	Vol. 2 「奔流」 出演/山田和樹(指揮)/大阪交響楽団 堀 朋平(お話) 曲目/シューベルト:交響曲 第2番 変ロ長調 D125 	500
9/10 (土)	Vol.3 「異界のしらべ」 出演/山田和樹(指揮)/日本センチュリー交響楽団 堀 朋平(お話) 曲目/シューベルト:《アルフォンゾとエストレッラ》(D732) 序曲 交響曲 第3番 ニ長調 D200 イタリア風序曲 ニ長調 D590 交響曲 第5番 変ロ長調 D485	600
9/11 (日)	特別企画 レクチャー「シンフォニーは一夜にしてならず」 出演/堀 朋平 (お話) / 佐藤卓史 (ピアノ、お話) 石橋栄実 (ソプラノ) / 福西 仁 (テノール) 清木ナツキ (フルート) 曲目/シューベルト:《菩提樹》/《美しき水車小屋の娘》D795 より 《しおれた花の変奏曲》D802 《楽興の時》第1番 D760-1/《太陽の都 I 》D754 《夜咲すみれ》D752 《エレンの歌Ⅲ (アヴェ・マリア)》D839 ピアノ・ソナタ D850-2/《郷愁》D851 (初稿) ほか	375
9/12 (月)	Vol.4 「永遠(とわ)の高みへ」 出演/山田和樹(指揮)/小林美樹(ヴァイオリン) 大阪フィルハーモニー交響楽団/堀 朋平(お話) 曲目/シューベルト:ヴァイオリン小協奏曲 ニ長調 D345 交響曲 第8番 ハ長調 D944「ザ・グレート」	622

[新・音楽の未来への旅シリーズ]

	2/C/C +2/MC 2 2 2 3	
	いずみシンフォニエッタ大阪 第48回定期演奏会 「知の絢爛」	
	出演/飯森範親(指揮)	
7 /0	山本毅、細江真弓(打楽器)/碇山典子、佐竹裕介(ピアノ)	
7/2	曲目/クセナキス:ノモス・アルファ/リネア-アゴン	412
(土)	アロウラ/パリンプセスト	
	バルトーク (川島素晴編):2台のピアノと打楽器のための協奏曲	
	(いずみシンフォニエッタ大阪版)	
	いずみシンフォニエッタ大阪 第49回定期演奏会 「時を超えるファンタジー」	
	出演/鈴木優人(指揮、チェンバロ、プリペアドピアノ)	
0 /11	曲目/ハインリヒ・ビーバー:Battalia	
2/11 (土祝)	ジョン・ケージ : プリペアドピアノ協奏曲	644
	メンデルスゾーン(鈴木優人編): 真夏の夜の夢	
	川島素晴:室内管弦楽のためのスタディ	
	「Jingle-Tree/Sweet Messenger」(委嘱新作)	

[フランス・オルガン音楽の魅惑]

Vol. 2 ロマン派~印象派 出演/トマ・オスピタル (パイプオルガン) ミシェル・ブヴァール (プロデューサー/お話) 宇山=ブヴァール康子 (お話、通訳) (土) 11/19 (土) 毎目/C. フランク:3つのコラールより コラール第2番 ロ短調 M. ラヴェル (T. オスピタル編):マ・メール・ロワ M. デュリュフレ:オルガン組曲 op. 5/T. オスピタル ・即顧演奏 ほか 515	<u> </u>		
・町爾淦奏 ほか	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	出演/トマ・オスピタル(パイプオルガン) ミシェル・ブヴァール(プロデューサー/お話) 宇山=ブヴァール康子(お話、通訳) 曲目/C. フランク:3 つのコラールより コラール第2番 ロ短調 M. ラヴェル(T. オスピタル編):マ・メール・ロワ	515
		M. デュリュフレ:オルガン組曲 op. 5/T. オスピタル : 即興演奏 ほか	

[バッハ・オルガン音楽の美学を巡る]

3/21 (火祝)	Vol. 2 バッハの実験的精神~初期 出演/冨田一樹(パイプオルガン) 曲目/J. S. バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 コラール 「主イエス・キリストよ、われらを顧みて」 BWV709 パッサカリア ハ短調 BWV582 ほか	674
	ノングリングリント短調 BWV582 (まか)	

[ランチタイムコンサート]

		,
6/1 (水)	Vol. 15 「あの熱気と抒情を、今ここで」 出演/小林愛実(ピアノ)/堀 朋平(企画・構成、お話) 曲目/ショパン:24のプレリュード op. 28 より 第 17 番 変イ長調 ノクターン op. 48-1,2 シューベルト: ピアノ・ソナタ 第 19 番 D958 ほか	794
9/21 (水)	Vol. 16 「ヴァイオリン・ビュッフェ〜わき出る"いずみ"に愛をこめて」 出演/小栗まち絵(ヴァイオリン)/田口友子(ピアノ) 堀 朋平(企画・構成、お話) 曲目/エルガー:愛の挨拶/クライスラー:愛の悲しみ /ラヴェル:ツィガーヌ /西村朗:無伴奏ヴァイオリンのための〈木霊〉 ほか	598
12/21 (水)	Vol. 17 「うるわしき"歌"の旅」 出演/村松稔之(カウンターテナー)/高田ひろ子(ピアノ) 堀 朋平(企画・構成、お話) 曲目/エンニオ・モリコーネ:『ニュー・シネマ・パラダイス』より 「愛のテーマ」 武満徹:小さな空、めぐり逢い、死んだ男の残したものは ほか	378
3/15 (水)	Vol. 18 「しなやかに、甘やかに〜バロックの春風」 出演/柴田俊幸(フラウト・トラヴェルソ) 中野振一郎(チェンバロ)/堀 朋平(企画・構成、お話) 曲目/ヘンデル:フルート・ソナタ ニ長調 HWV378 J.S.バッハ:フルート・ソナタ 変ホ長調 BWV1031 ほか	557

〔その他公演〕

しその他公演	J	
4/6 (水)	アンドレアス・シュタイアー&アレクサンドル・メルニコフ 出演/アンドレアス・シュタイアー/アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ) 曲目/シューベルト:4つのレントラー D814/ロンド イ長調 D951, op.107 創作主題による8つの変奏曲 変イ長調D813, op.35 幻想曲 へ短調 D940, op. 103 ほか	313
5/20 (金)	Music Supplement Vol.15 出演/The Rev Saxophone Quartet 曲目/坂本九、いずみたく:見上げてごらん夜の星を(宮越悠貴 編) G.ガーシュウィン:3 つのプレリュード ほか	518
6/11 (土)	バッハ・オルガン作品演奏会アンコール【2020年度延期公演】 出演/ロレンツォ・ギエルミ (パイプオルガン) 曲目/ブルーンス:プレリュディウム ト短調 ブクステフーデ:パッサカリア ニ短調 J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565 ほか	506
8/9 (火)	午後の特等席 Vol. 5 出演/川口成彦 (フォルテピアノ) 曲目/ショパン: 夜想曲 第 4 番 op. 15-1 練習曲 op. 10-12《革命》 練習曲 op. 10-9/練習曲 op. 10-3 《別れの曲》 シューベルト:ピアノ・ソナタ第 20 番 イ長調 D. 959 ほか	495
10/27 (木)	サー・アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル 出演/サー・アンドラーシュ・シフ (ピアノ) 曲目/ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第 17番 ニ短調 op. 31-2 モーツァルト: ロンド イ短調 K. 511 シューベルト: ピアノ・ソナタ 第 20番 イ長調 D959 ほか	798
11/15 (火)	午後の特等席 Vol. 6 出演/小林愛実(ピアノ) 曲目/J. S. バッハ: パルティータ 第2番 ハ短調 BWV826 J. ブラームス: 4つの小品 op. 119 F. ショパン: スケルツォ 第1番 ロ短調 op. 20 第2番 変ロ短調 op. 31 ほか	773
11/24 (木)	IZUMI JAZZ NIGHT2022 出演/小曽根真、塩谷 哲 (ピアノ) 曲目/塩谷 哲: あこがれのリオデジャネイロ ラヴェル:ピアノ協奏曲 第2楽章 (小曽根真 solo) 小曽根真: 0'berek ほか	765
12/8 (木)	庄司紗矢香&ジャンルカ・カシオーリ 出演/庄司紗矢香 (ヴァイオリン) ジャンルカ・カシオーリ (ピアノ) 曲目/モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第 28 番 ホ短調 K. 304(300c) C. P. E. バッハ:ファンタジア Wq. 80 (H. 536) ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第 9 番 イ長調 op. 47 ほか	595
1/5 (木)	ニューイヤー・コンサート 2023 出演/ウィーン・リング・アンサンブル 曲目/J. シュトラウス I:ポルカ「アリス」 ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「天体の音楽」 J. シュトラウス II:ポルカ・シュネル「浮気心」 ほか	606

2/1 (水)	樫本大進&エリック・ル・サージュ 【2021年度延期公演】 出演/樫本大進 (ヴァイオリン) /エリック・ル・サージュ (ピアノ) 曲目/シューマン:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 op.105 ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 op.100 ほか	777
2/21 (火)	ルドルフ・ブッフビンダー ピアノ・リサイタル ※アーティストの都合で来日中止 出演/ルドルフ・ブッフビンダー(ピアノ)	_
2/24 (金)	ロータス・カルテット 出演/ロータス・カルテット 曲目/ハイドン:弦楽四重奏曲 第76番 ニ短調《五度》 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲 第6番 へ短調 op.80 シューベルト:弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810 《死と乙女》	555

[人材養成事業]

	-ル/宇山=ブヴァ―ル康子(通訳) Fを記念して、フランクをテーマに実施。 E 57 名
--	--

[普及事業]

8/6 (土)	いずみ子どもカレッジ2022 子どもオペラで、《ブレーメンの音楽隊》 出演/西村沙織(ソプラノ)/市川泰明(テノール) 宮田晴菜(ヴァイオリン) 西村利香(フルート)/長谷川稚紗(クラリネット) 津田のの(トランペット)/椴山さやか(ピアノ)	352
10/14 (金)	第19回夢コンサート 出演/藤岡幸夫(指揮)、関西フィルハーモニー管弦楽団 曲目/ビゼー:《カルメン》組曲より闘牛士(指揮者体験コーナー) ベートーヴェン:交響曲 第5番ハ短調 op.67《運命》 ほか	223
1/18 (水)	西村朗の音楽講座XⅢ 『ドビュッシー~印象派音楽の霊域』 一神秘的な色香を放つ詩的情景への誘い一 出演/西村 朗(お話)、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー 曲目/ドビュッシー:アラベスク第1番/亜麻色の髪の乙女/夢 雨の庭/月の光 シランクス/狂詩曲第1番/チェロ・ソナタ フルート、ヴィオラとハープのためのソナタ	578
2/28 (火)	第20回夢コンサート 出演/藤岡幸夫(指揮)、関西フィルハーモニー管弦楽団 曲目/ブラームス:ハンガリー舞曲 第5番(指揮者体験コーナー) ラヴェル:《亡き王女のためのパヴァーヌ》 ヴェルディ:《運命の力》序曲	255

V 財団組織運営に関する事項

- 1. 公益目的支出計画に関する事項
 - a. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

2013年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後8年を経過し、一般社団法人 及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行 に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、2021年度の公益目的 支出計画実施報告書等を2022年6月に内閣府宛提出しました。

2013年4月1日移行時の公益目的財産額 2,906,799,046円

2021年度末日の公益目的収支差額

2, 963, 243, 116円

2021年度末日の公益目的財産残額

-56, 444, 070

b. 公益目的支出計画の実施完了

2022年7月20日付けで、2021年度末をもって公益目的支出計画の実施が完了したことの 確認書を内閣府より受領しました。

2. 評議員会·理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時 2022年6月17日

- ・2021年度計算書類承認の件
- 理事9名選任の件
- ・2021年度事業報告について(報告事項)
- ・公益目的支出計画実施完了確認請求書について(報告事項)
- ・2022年度事業計画書及び収支予算書について(報告事項)

臨時 2023年3月14日 ※定款第19条に規定する決議の省略による。

・理事1名選任の件

【理事会】

第1回 2022年5月20日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

- ・2021年度事業報告及び計算書類等承認の件
- ・2021年度公益目的支出計画実施完了確認書承認の件
- ・理事候補者9名選出の件
- ・2022年度定時評議員会開催の決定の件

第2回 2022年6月17日

- ・理事長(代表理事)選定の件
- ・常務理事 (業務執行理事) 選定の件
- 理事の担当職務承認の件
- 理事長代行順位承認の件
- 使用人職務の委嘱承認の件
- ・役員報酬額決定の件
- ・2022年度職務執行状況(4月・5月)について(報告事項)

第3回 2023年3月13日

- ・2023年度事業計画書及び収支予算書承認の件
- ・理事候補者1名選出の件
- 利益相反取引承認の件
- ・臨時評議員会開催の決定の件
- ・2022年度職務執行状況(4月~1月)について(報告事項)
- ・利益相反取引結果について (報告事項)

第4回 2023年3月22日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

- ・常務理事(業務執行理事)選定の件
- 理事の担当職務承認の件
- 理事長代行順位承認の件
- ・使用人職務の委嘱承認の件
- ・役員報酬額決定の件

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(2013年4月1日制定、2015年5月29日改定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその 独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保する ための体制
- (7) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行に ついて生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (8) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。 各規程に定める理事会及び監事への報告事項は下表のとおりです。

規程名	報告内容	2022年度状況	
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラム の遂行状況・達成状況	遂行状況・達成状況について問題なし。	
位 1 分母 1 次任	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。	
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた 通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。	
反社会的勢力 対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。	
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が 著しく阻害されると判断される事案はなし。	
受益者情報管理 規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。	
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した 外部委託管理の全社状況 その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。	
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。	
内部管理法人内 検証規程	検証結果	問題となる事項なし。	

4. 評議員・役員の状況

2022年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

9099年4日 1日	常務理事	新任	近藤 滋樹
2022年4月 1日	常務理事	新任	山本 直紀
	理長	退任(任期満了)	塩野 元三
	理事長	重任	藤戸 方人
	常務理事	重任	近藤 滋樹
	常務理事	重任	山本 直紀
2022年6月17日	理事	重任	宇高不可思
2022年6月17日	理事	重任	香曽我部 武
	理事	重任	中村 孝義
	理事	重任	林 紀夫
	理事	重任	堀本 葉子
	理事	新任	澤田 拓子
2023年3月31日	常務理事	辞任	山本 直紀

※2023年4月1日付で山崎謙常務理事が就任しています。

評議員名簿(敬称略)

(2023年3月31日現在)

*

		(2020 07101174)
評議員	小栗 まち絵	相愛大学大学院音楽研究科 教授
		東京音楽大学 特任教授 ・ ヴァイオリニスト
評議員	片山 登志子	片山・平泉法律事務所 弁護士・住友生命保険相互会社 社外取締役
評議員	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 理事長
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	佐藤 義雄	住友生命保険相互会社 特別顧問・元取締役会長代表執行役
評議員	橋本 研	レンゴー株式会社 常勤監査役
評議員	森田 耕太郎	サカタインクス株式会社 相談役

役 員 名 簿 (敬称略)

(2023年3月31日現在)

理事長	藤戸 方人	住友生命保険相互会社 特別顧問・元取締役代表執行役副社長
常務理事	近藤 滋樹	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
常務理事	山本 直紀	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命いずみホール事業局長
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 特別顧問
理事	香曽我部 武	大和ハウス工業株式会社 代表取締役副社長/CF0
理事	澤田 拓子	塩野義製薬株式会社 取締役副会長
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理事	林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長
理事	堀本 葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム所長
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	田中 英行	宮﨑綜合法律事務所 弁護士

※2023年3月31日付で山本直紀常務理事が辞任し、2023年4月1日付で山崎謙常務理事が就任しています。

5. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

*

貸借対照表

2023年 3月31日現在

(単位:円)

			(単位∶円)
科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	1, 013, 237, 067	941, 331, 004	71, 906, 063
未 収 塩	2, 115	37, 869	-35, 754
未 収 金	155, 939, 388	148, 087, 868	7, 851, 520
貯 蔵 品	15, 067, 682		401, 810
有 価 証 券			-44, 988, 863
立 替 金	313, 600		262, 022
前払費用	6, 139, 118		1, 689, 853
未収還付法人税等	1, 081		-153
不	1, 190, 700, 051		37, 086, 498
2. 固定資産	1, 190, 700, 03	1, 100, 010, 000	37, 000, 430
(1) 基本財産			
	E07 927 000	600 472 076	100 646 076
投資有価証券	597, 827, 000		-100, 646, 076
普 通 預 金	101, 039, 350		100, 000, 000
基本財産合計	698, 866, 350	699, 512, 426	-646, 076
(2) 特定資産	222 27:	000 010 ===	
退職給付引当資産	202, 974, 520		-5, 345, 000
特定資産合計	202, 974, 520	208, 319, 520	-5, 345, 000
(3) その他固定資産			
建物附属設備	23, 946, 458		1, 592, 346
構築物	1, 692, 427		-57, 908
十 器 備 品	146, 895, 207		14, 684, 761
ソフトウェア	12, 653, 189		-8, 626, 796
投 資 有 価 証 券	299, 409, 200	299, 528, 400	-119, 200
電 話 加 入 権	432, 000	432, 000	0
敷 金	4, 652, 000	4, 652, 000	0
長期 前払費用	411, 400	0	411, 400
その他固定資産合計	490, 091, 881	482, 207, 278	7, 884, 603
固定資産合計	1, 391, 932, 751	1, 390, 039, 224	1, 893, 527
資産合計	2, 582, 632, 802	2, 543, 652, 777	38, 980, 025
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	115, 577, 625	72, 708, 016	42, 869, 609
未 払 費 用	9, 550, 922		391, 938
預り金	5, 827, 406		1, 786, 222
前	29, 926, 620		2, 154, 110
賞 与 引 当 金	43, 021, 235		-3, 890, 985
未 払 法 人 税 等	120, 000		0, 555, 555
未 払 消 費 税 等	17, 893, 700		-580, 000
流動負債合計	221, 917, 508		42, 730, 894
2. 固定負債	22., 517, 660	170, 100, 011	.2, 700, 001
退職給付引当金	280, 816, 000	299, 824, 000	-19, 008, 000
図 報 相 的 カ ヨ 並 固定負債合計	280, 816, 000		-19, 008, 000
負債合計	502, 733, 508	· ·	23, 722, 894
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	502, 753, 500	413,010,014	25, 122, 694
1. 指定正味財産			
1. 指足近味別度 寄 付 金	697, 547, 941	698, 192, 180	-644, 239
-			-644, 239 -644, 239
指定正味財産合計	697, 547, 941		
(うち基本財産への充当額)	697, 547, 941		-644, 239
2. 一般正味財産	1, 382, 351, 353		15, 901, 370
(うち基本財産への充当額)	1, 318, 409		-1, 837
正味財産合計	2, 079, 899, 294		15, 257, 131
負債及び正味財産合計	2, 582, 632, 802	2, 543, 652, 777	38, 980, 025

正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

¥1 □	23年 3月31日まで	並左座	(単位:円)
科 目 I 一般正味財産増減の部	当年度	前年度	増 減
1. 経常増減の部 (1) 経常収益 基基 財財 産産 運 取 用 利 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 益 章 章 章 取 取 取 取	981, 342 981, 342 1, 178, 430, 947 1, 016, 857, 058 161, 573, 889 32, 000, 000 32, 000, 000 385, 000, 000 385, 000, 000 972, 304 457, 133 515, 171 1, 597, 384, 593 1, 565, 144, 580 10, 289, 000	2, 550, 159 2, 550, 159 1, 137, 175, 034 1, 012, 373, 548 124, 801, 486 35, 439, 095 385, 000, 000 385, 000, 000 817, 012 467, 863 349, 149 1, 560, 981, 300 1, 561, 948, 874 5, 750, 000	-1, 568, 817 -1, 568, 817 -1, 568, 817 41, 255, 913 4, 483, 510 36, 772, 403 -3, 439, 098 -3, 439, 098 -3, 439, 098 -10, 730 166, 022 36, 403, 293 3, 195, 706 4, 539, 000
当金用費費費費費費費費費費料料金費 (質) 生伝通搬却 本料 雇 厚宣交運償器 繕製水借険謝 雇 厚宣交運償器 繕製水借険謝 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	346, 348, 792 308, 842, 485 25, 522, 700 82, 097, 442 10, 605, 614 30, 296, 421 23, 821, 601 60, 291, 593 1, 223, 290 16, 138, 636 112, 444, 456 30, 256, 241 8, 366, 296 19, 216, 946 150, 626, 672 1, 174, 830 1, 497, 568 1, 948, 198	349, 862, 520 296, 467, 379 28, 761, 100 74, 497, 778 9, 785, 325 24, 023, 495 22, 824, 918 61, 244, 190 492, 721 17, 785, 016 114, 997, 998 23, 347, 511 8, 284, 242 15, 421, 966 150, 758, 715 1, 130, 187 1, 063, 389 2, 170, 063	-3, 513, 728 12, 375, 106 -3, 238, 400 7, 599, 664 820, 289 6, 272, 926 996, 683 -952, 597 730, 569 -1, 646, 380 -2, 553, 542 6, 908, 730 82, 754 3, 794, 980 -132, 043 44, 643 434, 179 -221, 865
租支支委雑い公 役給退福旅通減消消修 と	20, 536, 914 1, 279, 464 3, 000, 000 115, 145, 133 11, 856, 990 82, 089, 031 90, 227, 567 16, 164, 792 2, 575, 000 4, 536, 315 42, 300 2, 714, 933 860, 802 600 0 6, 915 57, 300	21, 469, 794 1, 089, 803 3, 000, 000 182, 011, 664 13, 692, 329 76, 346, 189 55, 670, 582 19, 540, 904 2, 150, 000 6, 094, 534 -12, 100 2, 687, 735 624, 226 25, 510 10, 182 345 93, 224 2, 742, 531	-932, 880 189, 661 0 -66, 866, 531 -1, 835, 339 5, 742, 842 34, 556, 985 -3, 376, 112 425, 000 -1, 558, 219 54, 400 27, 198 236, 576 -24, 910 -10, 182 -345 -86, 309 -2, 685, 231
中	181, 871 61, 016 571, 461 134, 093 1, 200, 000 841, 951 866, 317 138, 600 20, 000 1, 197, 868 157, 450 1, 581, 309, 372 16, 075, 221 -121, 037 -121, 037 15, 954, 184	100, 405 56, 234 589, 259 134, 408 1, 200, 000 501, 421 1, 464, 484 139, 650 20, 000 760, 240 158, 616 1, 581, 489, 778 -20, 508, 478 -367, 600 -20, 876, 078	81, 466 4, 782 -17, 798 -315 0 340, 530 -598, 167 -1, 050 437, 628 -1, 166 -180, 406 36, 583, 699 246, 563 246, 563 36, 830, 282
2.経常外増減の部 (1)経常外収益 経常外収益計 (2)経常外費用 固定資産除却損 経常外費用計 当期経常外増減額 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 II 指定正味財産期減の部 基本財産運用益	52, 814 52, 814 52, 814 15, 901, 370 1, 366, 449, 983 1, 382, 351, 353 1, 189, 164	0 11 11 -20, 876, 089 1, 387, 326, 072 1, 366, 449, 983 2, 580, 833	52, 803 52, 803 52, 803 -52, 803 36, 777, 459 -20, 876, 089 15, 901, 370
基本財産 受 用 証 息 基本財産 受 取 価 急基本財産 受 取 価 益基本財産 評 価 益基本財産 評 価 損基本財産 産 評 価 損 基本財産 産 評 価 損 一般正味財産増減額 指定正味財産増減額 指定正味財産期首残高 指定正味財産期末残高 エ 正味財産期末残高	1, 189, 164 30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180 697, 547, 941 2, 079, 899, 294	2, 580, 633 2, 580, 833 0 0 1, 027, 500 1, 027, 500 -2, 550, 159 -996, 826 699, 189, 006 698, 192, 180 2, 064, 642, 163	-1, 391, 609 -1, 391, 609 -30, 000 -30, 000 -145, 437 -145, 437 1, 568, 819 -352, 587 -996, 826 -644, 239 -15, 257, 131

正味財産増減計算書内訳表

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位:円)

						(単位:円)
科目		事業別			法人会計	合 計
	予防医学振興事業	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益 基 本 財 産 運 用 益	0	0	0	0	981, 342	981, 342
基	0	0	0	0	981, 342	981, 342
事業収益	1, 016, 857, 058	0	161, 573, 889	1, 178, 430, 947	901, 342	1, 178, 430, 947
健診事業収益	1, 016, 857, 058	0	101, 070, 000	1, 016, 857, 058	0	1, 016, 857, 058
いずみ事業収益	0	0	161, 573, 889	161, 573, 889	0	161, 573, 889
受取補助金等	0	0	32, 000, 000	32, 000, 000	0	32, 000, 000
受取助成金	0	0	32, 000, 000	32, 000, 000	0	32, 000, 000
受取寄付金	32, 000, 000	33, 000, 000	260, 000, 000	325, 000, 000	60, 000, 000	385, 000, 000
受取寄付金	32, 000, 000	33, 000, 000	260, 000, 000	325, 000, 000	60, 000, 000	385, 000, 000
雑 収 益	153, 647	0	368, 616	522, 263	450, 041	972, 304
受取利息	7, 092	0	0	7, 092	450, 041	457, 133
雑 収 益	146, 555	0	368, 616	515, 171	0	515, 171
経常収益計	1, 049, 010, 705	33, 000, 000	453, 942, 505	1, 535, 953, 210	61, 431, 383	1, 597, 384, 593
(2) 経常費用						
事 業 費	1, 106, 942, 020	21, 819, 892	436, 382, 668	1, 565, 144, 580	0	1, 565, 144, 580
役 員 報 酬	2, 532, 000	2, 532, 000	5, 225, 000	10, 289, 000	0	10, 289, 000
給 料 手 当	221, 897, 684	6, 070, 962	118, 380, 146	346, 348, 792	0	346, 348, 792
臨 時 雇 賃 金	289, 340, 524	0	19, 501, 961	308, 842, 485	0	308, 842, 485
退 職 給 付 費 用	27, 166, 100	84, 600	-1, 728, 000	25, 522, 700	0	25, 522, 700
福 利 厚 生 費	48, 825, 628	3, 267, 979	30, 003, 835	82, 097, 442	0	82, 097, 442
広 告 宣 伝 費	447, 812	0	10, 157, 802	10, 605, 614	0	10, 605, 614
旅 費 交 通 費	21, 622, 305	1, 266, 826	7, 407, 290	30, 296, 421	0	30, 296, 421
通 信 運 搬 費	16, 746, 381	6, 300	7, 068, 920	23, 821, 601	0	23, 821, 601
減 価 償 却 費	54, 829, 650	0	5, 461, 943	60, 291, 593	0	60, 291, 593
消耗 什器 備品費	501, 390	0	721, 900	1, 223, 290	0	1, 223, 290
消 耗 品 費	12, 541, 724	10, 238	3, 586, 674	16, 138, 636	0	16, 138, 636
健診消耗品費	112, 444, 456	0	0	112, 444, 456	0	112, 444, 456
修繕費	29, 362, 541	400	893, 300	30, 256, 241	0	30, 256, 241
印刷 製 本費	2, 525, 702	35, 000	5, 806, 294	8, 366, 996	0	8, 366, 996
光 熱 水 料 費	14, 738, 994	81, 851	4, 396, 101	19, 216, 946	0	19, 216, 946
賃 借 料	142, 123, 718	766, 594	7, 736, 360	150, 626, 672	0	150, 626, 672
保 険 料	648, 338	2, 674	523, 818	1, 174, 830	0	1, 174, 830
諸謝金	0	22, 427	1, 475, 141	1, 497, 568	0	1, 497, 568
会議・交際費	28, 000	1, 315, 595	604, 603	1, 948, 198	0	1, 948, 198
租税公課	3, 024, 454	-352, 978	17, 865, 438	20, 536, 914	0	20, 536, 914
支 払 負 担 金	635, 400	0	644, 064	1, 279, 464	0	1, 279, 464
支 払 助 成 金	0	3, 000, 000	0	3, 000, 000	0	3, 000, 000
委 託 費	97, 035, 858	3, 691, 564	14, 417, 711	115, 145, 133	0	115, 145, 133
雑 費	7, 923, 361	17, 860	3, 915, 769	11, 856, 990	0	11, 856, 990
いずみホール管理費	0	0	82, 089, 031	82, 089, 031	0	82, 089, 031
公演企画制作費	0	0	90, 227, 567	90, 227, 567	0	90, 227, 567
管 理 費	0	0	0	0	16, 164, 792	16, 164, 792
役 員 報 酬	0	0	0	0	2, 575, 000	2, 575, 000
給料 手 当	0	0	0	0	4, 536, 315	4, 536, 315
退職給付費用	0	0	0	0	42, 300	42, 300
福利厚生費	0	0	ő	0	2, 714, 933	2, 714, 933
旅费交通费	0	0	ő	0	860, 802	860, 802
通信運搬費	0	0	ő	0	600	600
消耗品費	0	0	ő	0	6, 915	6, 915
修繕費	0	0	ő	0	57, 300	57, 300
印刷製本費	0	0	0	0	181, 871	181, 871
光 熱 水 料 費	0	0	0	0	61, 016	61, 016
賃借料	0	0	0	0	571, 461	571, 461
保険料	0	0	0	0	134, 093	134, 093
諸謝金	0	0	0	0	1, 200, 000	1, 200, 000
会議・交際費	0	0	0	0	841, 951	841, 951
租税公課	0	0	0	0	866, 317	866, 317
支 払 負 担 金	0	0	0	0	138, 600	138, 600
支 払 寄 付 金	0	0	0	0	20, 000	20, 000
委 託 費	0	0	0	0	1, 197, 868	1, 197, 868
雑費	0	0	0	0	157, 450	157, 450
経常費用計	1, 106, 942, 020	21, 819, 892	436, 382, 668	1, 565, 144, 580	16, 164, 792	1, 581, 309, 372
評価損益等調整前当期経常増減額	-57, 931, 315	11, 180, 108	17, 559, 837	-29, 191, 370	45, 266, 591	16, 075, 221
投資有価証券評価損益等	-119, 200	0	0	-119, 200	-1, 837	-121, 037
評価損益等計	-119, 200	0	0	-119, 200	-1, 837	-121, 037
当期経常増減額	-58, 050, 515	11, 180, 108	17, 559, 837	-29, 310, 570	45, 264, 754	15, 954, 184
2. 経常外増減の部		0	0	0		0
(1) 経常外収益		0	0	0	 	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用		0	0	0		0
固定 資産 除却損	52, 814	0	0	52, 814	0	52, 814
経常外費用計	52, 814	0	0	52, 814	0	52, 814
当期経常外増減額	-52, 814	0	0	-52, 814	0	-52, 814
当期一般正味財産増減額	-58, 103, 329	11, 180, 108	17, 559, 837	-29, 363, 384	45, 264, 754	15, 901, 370
コカ RX上外別圧相限領	1, 945, 235, 632	-1, 146, 167, 905	-1, 632, 935, 537	-833, 867, 810	2, 200, 317, 793	1, 366, 449, 983
ョ期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高	1, 887, 132, 303	-1, 134, 987, 797	-1, 615, 375, 700	-863, 231, 194	2, 245, 582, 547	1, 382, 351, 353
	1, 007, 132, 303					
一般正味財産期首残高	1, 667, 132, 303				1, 189, 164	1, 189, 164
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高	1, 667, 132, 303	0	0	0		
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 エ 指定正味財産増減の部		0	0 0	0	1, 189, 164	1, 189, 164
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 Ⅲ 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益	0				1, 189, 164 30, 000	1, 189, 164 30, 000
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 Ⅱ 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 基 本 財 産 受 取 利 息	0					
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 I 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 基 本 財 産 受 取 利 息 基 本 財 産 評 価 益	0				30, 000	30, 000
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 耳 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 基 本 財 産 受 取 利 息 基 本 財 産 評 価 益 基 本 財 産 評 価 益	0		0 0 0	0 0 0	30, 000 30, 000	30, 000 30, 000
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 I 指定正味財産地減の部 基本財産運用 益息基本財産 評価 益基本財産 評価 損基本財産 評価 損基本財産 評価 損	0		0 0 0	0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 I 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 息 基 本 財 産 評 価 益 基 本 財 産 評 価 損 基 本 財 産 評 価 損 基 本 財 産 評 価 損 基 本 財 産 評 価 損	0		0 0 0 0	0 0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063	30, 000 30, 000 882, 063
-般正味財産期首残高 -般正味財産期末残高 I 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 息 基 本 財 産 戸 価 益 基 本 財 産 戸 価 益 基 本 財 産 戸 価 損 長 基 本 財 産 戸 価 損 し 根 正 味 財 産 へ の 振 替 額 当期指定正味財産増減額	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 I 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 息 基 本 財 産 受 取 利 起 息 基 本 財 産 評 価	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180
一般正味財産期言残高 一般正味財産期末残高 II 指定正味財産増減の部 基本財産受取利 基本財産 受取利 基息 基本財産 評価 極 基本財産 評価 極 基本財産 評価 極 基本財産 評価 極 損 日・般正味財産増減額 指定正味財産期言残高 指定正味財産期未残高	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180 697, 547, 941	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180 697, 547, 941
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 工 指定正味財産増減の部 基 本 財 産 運 用 益 息 基 本 財 産 契 価 価 基 本 財 産 評 価 価 損 基 本 財 産 評 価 債 損 基 本 財 産 評 価 損 損 一般 正 味 財 産 2 評 価 損 損 当期指定正味財産増減額 指定正味財産増減額 指定正味財産増減額	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180	30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に 相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	698,473,076	237,824	100,883,900	597,827,000
普通預金	1,039,350	100,000,000	0	101,039,350
小 計	699,512,426	100,237,824	100,883,900	698,866,350
特定資産				
退職給付引当資産	208,319,520	10,000,000	15,345,000	202,974,520
小 計	208,319,520	10,000,000	15,345,000	202,974,520
合 計	907,831,946	110,237,824	116,228,900	901,840,870

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産 投資有価証券 普通預金 小 計	597,827,000 101,039,350 698,866,350	100,000,000	1,039,350	0
特定資産 退職給付引当資産 小 計	202,974,520 202,974,520	0	0	202,974,520 202,974,520
合 計	901,840,870	697,547,941	1,318,409	202,974,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位・円)

			(T) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	660,430,650	636,484,192	23,946,458
構築物	2,797,498	1,105,071	1,692,427
什器備品	682,319,455	535,424,248	146,895,207
ソフトウエア	90,852,571	78,199,382	12,653,189
合 計	1,436,400,174	1,251,212,893	185,187,281

5.偶発債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	698,192,180	237,824	882,063	697,547,941	指定正味財産
2022年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
2022年度文化芸術振興費補助金	独立行政法人日本芸術文化振 興会	0	19,600,000	19,600,000	0	一般正味財産
2022年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	4,500,000	4,500,000	0	一般正味財産
2022年度芸術文化振興補助金	大阪府	0	1,000,000	1,000,000	0	一般正味財産
文化芸術振興費補助金	文化庁	0	6,000,000	6,000,000	0	一般正味財産
新・音楽の未来への旅シリーズ2022助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
7/2公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸 術文化財団	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
合 計	698,192,180	417,237,824	417,882,063	697,547,941		

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額	Į
経常収益への振替額 基本財産受取利息振替額 (償却原価法によるものを除く)	98	31,340
合 計	98	31,340

8. 金融商品に関する事項

(1)金融商品に対する取組方針

当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

- (3)金融商品のリスクに係る管理体制
- ①資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。

- ② 信用リスクの管理
 - 発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。
- ③ 市場リスクの管理

関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

9. その他

- (1) 退職給付関係
- ①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	-280,816,000
退職給付引当金	-280,816,000

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

·	(単位:円)
勤務費用	25,565,000
退職給付費用	25 565 000

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

(2)資産除去債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書 財務諸表に対する注記に記載をしており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	46,912,220	43,021,235	46,912,220	0	43,021,235
退職給付引当金	299,824,000	25,565,000	44,573,000	0	280,816,000

<u>予算対比正味財産増減計算書(参考資料)</u> 2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

2022 + 47 1 a n n	2023年 3月31日まで		(単位:円)
A B	予算額	決算額	差異
I 一般で	1, 231, 000 1, 231, 000 1, 279, 128, 000 1, 089, 000, 000 190, 128, 000 20, 000, 000 20, 000, 000 385, 000, 000 385, 000, 000 792, 000 468, 000 324, 000 1, 686, 151, 000 10, 500, 000	981, 342 981, 342 1, 178, 430, 947 1, 016, 857, 058 161, 573, 889 32, 000, 000 385, 000, 000 385, 000, 000 972, 304 457, 133 515, 171 1, 597, 384, 593 1, 565, 144, 580 10, 289, 000	249, 658 249, 658 100, 697, 053 72, 142, 942 28, 554, 111 -12, 000, 000 -12, 000, 000 0 -180, 304 10, 867 -191, 171 88, 766, 407
会院退福広旅通減消消健修印光賃保諸 等付 備品 本料 賃 生伝通搬却 本料 賃 生伝通搬却 本料 賃 生伝通搬却 本料 任 付	367, 539, 000 302, 017, 000 22, 168, 000 85, 141, 000 15, 891, 000 32, 587, 000 22, 650, 000 71, 163, 000 4, 250, 000 117, 262, 000 117, 500, 000 31, 678, 000 9, 814, 000 152, 516, 000 1, 356, 000 1, 356, 000 1, 460, 000	346, 348, 792 308, 842, 485 25, 522, 700 82, 097, 442 10, 605, 614 30, 296, 421 23, 821, 601 60, 291, 593 1, 223, 290 16, 138, 636 112, 444, 456 30, 256, 241 8, 366, 996 19, 216, 946 150, 626, 672 1, 174, 830 1, 497, 568	21, 190, 208 -6, 825, 485 -3, 354, 700 3, 043, 558 5, 285, 386 2, 290, 579 -1, 171, 601 10, 871, 407 3, 026, 710 1, 123, 364 5, 055, 544 1, 421, 759 1, 447, 004 -3, 173, 946 1, 889, 328 181, 170 -37, 568
会和支支委雑い公 役給退福旅通消修印光 会和支支委雑い公 役給退福旅通消修印光 管 費費費費費費費費費費費費費 費 酬当用費費費費費費費費費 要	3, 861, 000 22, 560, 000 1, 578, 000 3, 000, 000 101, 438, 000 13, 778, 000 83, 743, 000 95, 416, 000 18, 793, 000 3, 600, 000 -7, 000 3, 145, 000 -764, 000 24, 000 106, 000 0 300, 000 42, 000	1, 948, 198 20, 536, 914 1, 279, 464 3, 000, 000 115, 145, 133 11, 856, 990 82, 089, 031 90, 227, 567 16, 164, 792 2, 575, 000 4, 536, 315 42, 300 2, 714, 933 860, 802 600 6, 915 57, 300 181, 871 61, 016	1, 912, 802 2, 023, 086 298, 536 0 -13, 707, 133 1, 921, 010 1, 653, 969 5, 188, 433 2, 628, 208 1, 025, 000 1, 084, 685 -49, 300 430, 067 -96, 802 23, 400 99, 085 -57, 300 118, 129 -19, 016
賃保 借 料料 金 費	488, 000 201, 000 1, 250, 000 750, 000 1, 157, 000 20, 000 1, 046, 000 1, 046, 000 1, 625, 702, 000 60, 448, 000	571, 461 134, 093 1, 200, 000 841, 951 866, 317 138, 600 20, 000 1, 197, 868 157, 450 1, 581, 309, 372 16, 075, 221 -121, 037 15, 954, 184	-83, 461 66, 907 50, 000 -91, 951 290, 683 11, 400 (-151, 866 -22, 450 44, 392, 628 44, 372, 773 121, 037 44, 493, 816
2. 経常外增減の部 (1) 経常外収益 経常外収益計 (2) 経常外費用 固定資産除却損 経常外費用計 当期経常外増減額 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期直残高 一般正味財産期主残高	0 0 0 0 60, 448, 000 1, 285, 096, 000 1, 345, 544, 000	0 0 0 52, 814 52, 814 -52, 814 -52, 814 15, 901, 370 1, 366, 449, 983 1, 382, 351, 353	-52, 814 -52, 814 52, 814 44, 546, 630 -81, 353, 983 -36, 807, 353
 I 指定正味財産増減の部 基本財 産 受 取 価 基本財 産 受評 証 価 基本財 産 評評 価 基本財 産 評評 価 基本財 産 評評 価 損 優 正 味 財 産 額 当期指定正味財産増減額 指定正味財産期 音残高 指定正味財産期末残高 II 正味財産期表残高 	2, 488, 000 2, 488, 000 0 0 0 0 -2, 555, 000 -67, 000 699, 122, 000 699, 055, 000 2, 044, 600, 000	1, 189, 164 1, 189, 164 30, 000 30, 000 882, 063 882, 063 -981, 340 -644, 239 698, 192, 180 697, 547, 941 2, 079, 899, 294	1, 298, 836 1, 298, 836 -30, 000 -30, 000 -882, 063 -882, 063 -1, 573, 660 577, 239 929, 820 1, 507, 059 -35, 299, 294

設備投資額 予算額; 100,144,000 決算額; 67,936,810

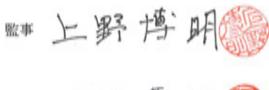
財産目録(参考資料) 2023年 3月31日現在

		2023年 3月31日現任	(単位:円)
	照表科目	内容・備考	金額
(流動資産)	現金	手元保管(予防医学振興事業)	1, 319, 867 1, 194, 605
		手元保管(音楽文化振興事業)	125, 262
	預金	普通預金	1, 011, 917, 200
		三井住友銀行(予防医学振興事業)	142, 974, 064 9, 593, 057
		│ みずほ銀行(予防医学振興事業) │ 三菱UFJ銀行(予防医学振興事業)	67, 588, 760
		三井住友銀行(福祉事業)	78, 791, 321
		関西みらい銀行(音楽文化振興事業)	171, 346, 182
		関西みらい銀行(音楽文化振興事業) 関西みらい銀行(音楽文化振興事業)	3, 228, 826 4, 821, 799
		三菱UFJ銀行(音楽文化振興事業)	597, 862
		三井住友銀行(音楽文化振興事業)	990, 339
		三井住友銀行(音楽文化振興事業) ゆうちょ銀行(音楽文化振興事業)	15, 000, 000 24, 166, 430
		三井住友銀行(法人会計)	492, 818, 560
	未収収益		2, 115
	未収金	 予防医学振興事業未収金	155, 939, 388 124, 706, 807
		音楽文化振興事業未収金	31, 232, 581
	貯蔵品		15, 067, 682
		予防医学振興事業貯蔵品 音楽文化振興事業貯蔵品	13, 179, 250 1, 888, 432
	立替金	日本人心派光尹未別成四	313, 600
	前払費用		6, 139, 118
		予防医学振興事業前払費用 音楽文化振興事業前払費用	1, 427, 899 4, 711, 219
	未収還付法人税等	日本へ 心脈共ず木削14具用	1, 081
流動資産合計			1, 190, 700, 051
(固定資産) 基本財産			698, 866, 350
坐作利注	投資有価証券		597, 827, 000
		第168回大阪府債(法人会計)	99, 950, 000
		第177回大阪府債(法人会計) 第192回大阪府債(法人会計)	299, 251, 100 198, 625, 900
	普通預金	STORY OF THE VALUE OF THE STORY	101, 039, 350
		│ 三菱UFJ銀行(法人会計) │ 三井住友銀行(法人会計)	1, 039, 350 100, 000, 000
特定資産		<u>一</u>	202, 974, 520
,,,,,,,	退職給付引当資産		202, 974, 520
		三菱UFJ銀行(予防医学振興事業) 関西みらい銀行(音楽文化振興事業)	157, 721, 520 45, 253, 000
その他固定資産			490, 091, 881
	建物付属設備		23, 946, 458
	│構築物 │什器備品		1, 692, 427 146, 895, 207
	ソフトウエア		12, 653, 189
	投資有価証券	安 2 同葉様用体 /マ叶医光に四本巻/	299, 409, 200
		第 3回茨城県債(予防医学振興事業) 第165回大阪府債(予防医学振興事業)	99, 979, 200 99, 960, 000
		第192回利付国債(予防医学振興事業)	99, 470, 000
	電話加入権		432,000
	敷金 長期前払費用		4, 652, 000 411, 400
固定資産合計			1, 391, 932, 751
資産合計 (流動負債)			2, 582, 632, 802
(加到民限/	未払金		115, 577, 625
		予防医学振興事業未払金	89, 146, 210
	未払費用	音楽文化振興事業未払金 	26, 431, 415 9, 550, 922
		予防医学振興事業未払費用	6, 227, 396
	쯔니수	音楽文化振興事業未払費用	3, 323, 526
	預り金	 予防医学振興事業未払金	5, 827, 406 2, 828, 737
		音楽文化振興事業未払金	2, 998, 669
	前受金		29, 926, 620
	賞与引当金	音楽文化振興事業前受金 	29, 926, 620 43, 021, 235
		予防医学振興事業賞与引当金	32, 255, 967
	未払法人税等	音楽文化振興事業賞与引当金	10, 765, 268 120, 000
	本払法人祝寺 未払消費税等		17, 893, 700
流動負債合計			221, 917, 508
(固定負債)	退聯於什 <u>司</u> 业全		280, 816, 000
	退職給付引当金	 予防医学振興事業退職給付引当金	280, 816, 000
		音楽文化振興事業退職給付引当金	45, 253, 000
固定負債合計			280, 816, 000
負債合計 正味財産			502, 733, 508 2, 079, 899, 294
- 11/11/IT			2, 3, 5, 555, 20

監 査 報 告

2023年 上月/ウ目

一般財団法人住友生命福祉文化財団 理事長 藤戸 方人 殿



验事 田中 英行電

私たち監事は、2022年4月1日から2023年3月31日までの事業年度の理事の 職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に 努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報 告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を 調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸 借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点に おいて適正に表示しているものと認めます。

以上